



や必要性について説明し、計画を進めることについて理解していただけるよう取り組んでいます。

また、他の対象地域でも、要望により説明会などを行っています。

**説明会などの開催状況**

◆開催時期 平成30年2月～令和元年5月

◆開催回数 43回

◆出席人数 延べ700人



●単式学級の授業風景

来年度から小学校英語が教科として正式にスタートし、それに伴う移行期間としての英語科が5・6年生(3・4年生は英語活動)で既に始まっています。体育の集団で行うゲームや競技、音楽の合唱や合奏、コミュニケーション能力を活用する英語をはじめとする各教科、議論する道徳など、一定規模の学習集団が必要となっています。

出席者の意見や質問

- ▼説明会などで出席者から提出された意見や質問の概要は次のとおりです。
- ▼説明内容は理解するが、実際に学校がなくなることや通学方法への不安なこと
- ▼子どもの数が減少している中、求められている教育内容を実現することについて
- ▼統合した場合、児童たちの地域行事への参加方法はどうか
- ▼より多くの友達がいる中で、勉強する大切さを理解できる
- ▼放課後児童クラブ、放課後子供教室の実施について
- ▼積雪の多い地域での冬季スクールバスの運行など

八幡小学校の統合への合意

八幡小学校を東城小学校に統合し、児童の教育環境を整えることについて、保護者・地域の方々の理解を得たため、本年4月に合意書を交わしました。

今後は令和3年4月の統合へ向けて、通学方法の確認や学校同士の事前交流など、児童たちが新しい環境に慣れるよう具体的な協議や検討を行い、統合へ向けての準備を進めていきます。

併せて、他の対象校の保護者、地域の方々へは、引き続き計画について理解をいただけるよう取り組み、計画を推進していきます。

●令和3年4月に統合を計画している学校の児童数および通常学級数の推計

令和3年度の見込み数

学校名	※	通常学級数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
川北小学校	☆	3	3	4	5	4	2	3	21
庄原小学校	○	12	43	64	51	59	48	53	318
計			46	68	56	63	50	56	339
美古登小学校	☆	3	0	4	4	3	11	5	27
西城小学校	○	6	7	14	16	9	10	11	67
計			7	18	20	12	21	16	94
八幡小学校	☆	3	1	2	1	3	2	2	11
粟田小学校	☆	3	1	5	3	3	4	3	19
東城小学校	○	8	33	36	42	34	38	35	218
計			35	43	46	40	44	40	248
口北小学校	☆	3	0	3	10	7	4	9	33
口南小学校	○	6	9	7	11	12	14	13	66
計			9	10	21	19	18	22	99

※☆は統合予定校、○は統合先校  
 ※令和元年5月1日現在の住民基本台帳に基づき推計しています。  
 ※複式学級は網掛けにし、学年の間の仕切り線を削除しています。  
 ※児童数は、通常学級および特別支援学級に在籍している合計の人数です。

市内小・中学校の  
適正規模・適正配置について

教育総務課学校管理係 ☎0824・73・1186

全国的に児童生徒の減少による学校の小規模化が進む中、本市でも、学年の人数が0人、あるいは1人、2人といった極小規模の学校があり、幼少期からずっと固定化された少人数の学習集団のままで学習することが子どもたちにとってどのような影響が出るのか、新学習指導要領に示された内容や求められる力に対応できるのかなどが課題となっています。

学校適正規模・配置の必要性

今後も児童生徒の減少が続いていく中においては、児童生徒が同世代間において、多様な考えに触れず、切磋琢磨する機会の減少が見込まれます。

今日求められる力として、知識・技能の習得はもちろんのこと、思考力・判断力・表現力などの育成をはじめ、社会性やコミュニケーション能力、情報活用能力や新たな価値の創造力など、将来を見据えた「生きる力」を着実に培うことが非常に大切になっています。

こうした社会や学校状況、児童生徒に付ける力、あるいは将来の姿などを鑑み、児童生徒にとっての学校教育

はどうあるべきかを考えたとき、学校の適正配置は避けては通れない課題となっています。

複式学級の授業について

複式学級とは、学年の異なる2つ以上の学年の児童生徒を1学級に編制した学級のことです。本年度、本市では複式学級を有する小学校が10校あり、いずれの複式学級も少人数で、中には1人・2人といった極少人数の学年もあります。

複式学級の授業では、1人の教員が2つの異なる学年、違う学習内容を同時に指導するため、授業時間の約半分は、児童だけで学習を進めていくこととなります。また、教科・単元などによっては、学習目標・内容を考慮し、複数学年が、一緒に授業を行う場合もあります。

教員委員会の取り組み

平成30年1月に策定した「庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画」に基づき、令和3年4月に統合を計画している対象校の保護者、地域の方々に対し、学校の適正規模・配置の重要性